

経営比較分析表（令和6年度決算）

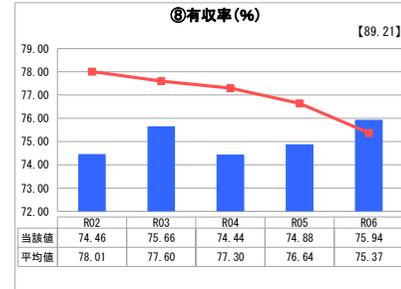
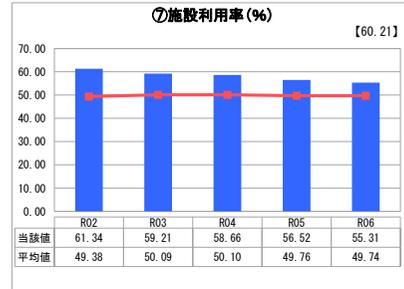
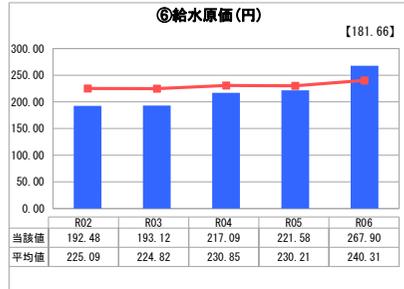
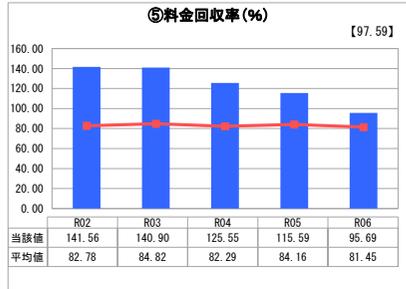
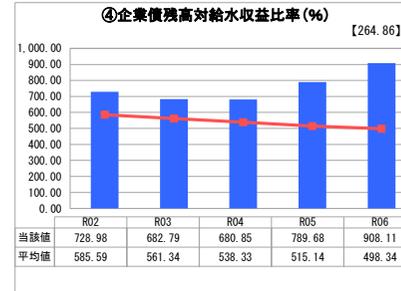
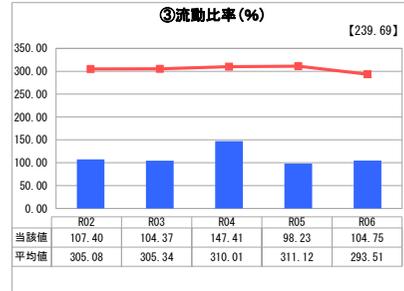
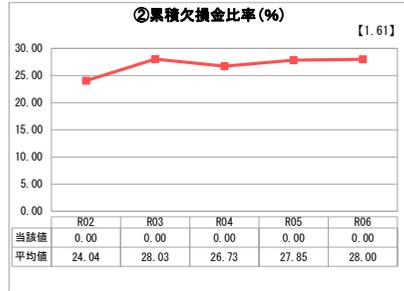
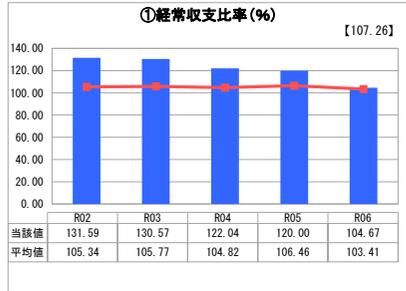
愛媛県 鬼北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	60.21	99.85	5,170	

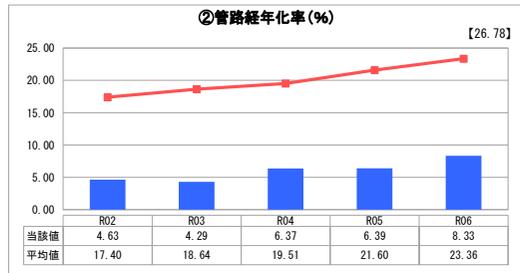
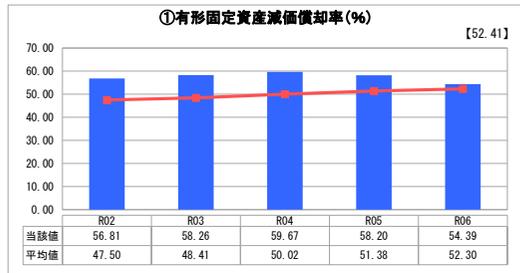
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,108	241.88	37.66
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
8,723	34.03	256.33

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については100%以上で、類似団体平均値を上回っているが資産減耗費が増加した為、大きく減少した。一般会計からの繰入金等も物価対策事業の補助金以外は基準内繰入で収まっているが、人口減少等から料金収入も減少傾向のため長期的な視点で見ると経営改善の取組は検討する必要がある。

累積欠損比率は0%であり全国平均・類似団体平均値と比較しても良好な経営状態といえる。

流動比率については、全国平均・類似団体平均値を下回っているのでも全国平均・類似団体平均値に近づけるようにつとめたい。

企業債残高対給水収益比率については、上昇傾向にあり、全国平均・類似団体平均値を上回っている。これは、大規模な施設改良に伴う企業債の借入によるものであり、今後は、バランスを見ながら事業を検討していかなければならない。

料金回収率については、供給単価÷給水原価×100で表される値で、資産減耗費の増加により給水原価が上昇した為に料金回収率が減少している。

施設利用率については一般的に高い数値であることが望まれており、類似団体平均値を上回っている。

有収率については類似団体平均値を上回っている。老朽管等からの漏水・事故等による漏水が原因であり、計画的な漏水調査を実施し有収率の更なるアップにつとめたい。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、全国平均・類似団体平均値を上回っているが、更新整備を実施しているため率が減少している。今後も継続的に管路の更新を実施していく予定のため、減少することが見込まれる。

管路経年化率は、全国平均・類似団体に比べて老朽化率は低いといえる。

管路更新率については、全国平均・類似団体と比較して高い数値となっている。当町では平成元年以降大規模な施設更新を行ったが、一部昭和50年代に改良した施設について法定耐用年数を超えている。更新等の必要性がでてきているので計画的な更新を実施していく予定である。

全体総括

経営の健全性・効率化について、経常収支比率・累積欠損比率とも物価対策事業や資産減耗費の増といった特殊な事情を除くとおおむね良好な数値を表している。

流動比率については、全国平均・類似団体平均より低い数値なのでも全国平均・類似団体平均に近づけるようにつとめたい。

料金回収率についても、除却費増の要因を除けば問題ない値である。

給水原価についても、全国平均・類似団体平均を超えているが資産減耗費の増のためである。

有収率については類似団体平均値を上回った。計画的な漏水調査等を実施し、有収率100%に少しでも近づけた。

管路更新率については改良工費等に制限があり伸びていく見込みは少ないが、耐震化等施設の更新と合わせて計画的に実施していきたい。